

# 3・25三里塚 - 84春闘勝利を中心とする闘い

## 内達・動乗勤改悪阻止

84回定期委員会  
で確認された  
当面する方針  
について



84. 3. 18  
No. 1593

国鉄千葉動力車労働組合  
千葉市要町二一八 (動力車会館)  
(鉄電) 二九三五(六) (公衆) 〇四七二(二二) 七二〇七

動労千葉は三月十四日に第八回定期委員会を開催し、「3・25三里塚」一八四春闘一内達・動乗勤改悪阻止を中心とする当面する闘いの方針について、満場一致で次の通り決定しました。

### I. 「3・25三里塚」五割動員の闘い

個別オルグ・職場集会等、あらゆる手段をもって「全員オルグ」を貫徹し、支部・分科・青年部役員が先頭にたつて準ストライキ体制ともいべき「五割動員」実現をかちとる。とりわけ、①二期阻止一労農連帯、②反戦、反動中曾根打倒、③臨調国鉄攻撃砕粉・組織力と団結力を圧倒的にさし示し、対当局への職場支配権をわれわれの優勢に保持・強化する、④その事が、「職場規律」、動乗勤、運転保安、八四春闘をはじめ職場の諸課題を勝ちとっていく根源的力である、等々の「3・25五割大動員」のもつ特殊重要な意義について全員の意志統一をはかることとする。また、全国オルグの強化、教宣活動の強化、職場討議資料の活用をはかる。

### II. 八四春闘のとりくみ

本委員会終了後、直ちに「申7号(年度末手当要求)」および「申8号(八四新賃金要求)」に基づく団体交渉を展開し、全体情勢を見極め、実力闘争を配置して闘う。山場は4月中旬下旬が想定されるが、われわれは総評・県労連・県春闘共闘を軸とした春闘行動を積極的に闘うとともに、3・25三里塚現地集会など春闘前段の情勢を盛り上げる闘いを全力で取り組む。具体的戦術については、執行委員会で決定する。

### III. 内達一動乗勤改悪阻止の闘い

「動力車乗務員の勤務制度の一切」をひとつにまとめることを通して「働き度」を高め権利剥奪・労働運動解体を狙う攻撃であり、われわれは乗務員のみならず全職種の労働者の総力をあげて不退転の闘いを展開する。具体的には、運転保安闘争と結合した団体交渉を強化し、職場集会・学習会・個別オルグ等を実施し、「日刊動労千葉」や「カベ新聞」あるいは「内達対策委員会」による各種学習資料等を活用した教宣活動で闘いの全体化をはかり、4月上旬、局前総決起集会を開催する。闘いの山場には、実力闘争を配置し、状況に応じて「労基法」「公労委」「裁判闘争」等をも含めあらゆる戦術を駆使し、第8回定期大会方針を貫徹する。

とりわけ、この重大な攻撃に対して「働き度不足をクリアーする」と公言して全国の動労組合員

の怒りと闘いを反動的に圧殺し、率先して裏切り妥結を強要してまわっている動労「本部」革マルを全国全職場で砕粉・一掃する闘いの高揚こそがこの闘いの勝利の重大なカギをなしている。われわれは、怒りにもえて決起しようとしている動労・国労をはじめ全国の闘う国鉄労働者との連携を一層強化し、国鉄労働運動の戦闘的発展のための全国的な交流を積極的に強化拡大して闘う。

### IV. その他当面する闘い

(1) 「60・3」ダイ改阻止一反合・運転保安闘争以上の当面する闘いを通して「60・3」ダイ改阻止を切り拓き、運転保安での当局の無責任な姿勢を糾弾し、列車が止ることも辞さぬ決意で運転保安闘争を強化していく。

(2) 「職場規律」一第二マル生攻撃砕粉の闘い 国鉄当局は、無謀な合理化強行による膨大な「過員」の発生をテコとしつつ、動労「本部」革マルを先兵とする「職場規律」一第二マル生攻撃を強めていることをわれわれは怒りをこめて断罪し、絶対に砕粉しなければならぬ。労働者を侮辱する当局のこのおごりたかぶった凶悪な攻撃に対し、われわれは断じて許さず、ワッペン行動、ピラ貼り、非協力闘争、現場長交渉の追求等あらゆる戦術の日常的職場実力闘争を強化し、この攻撃を粉々に砕粉していく。

- (3) 組織強化・拡大、裏切集団一動労「千葉地本」解体、等の闘い
- ◎「地域班結成」については、早急に第二回地域班担当者会議を開催し、取り組みを強化する。
- ◎4・5月を家族会強化月間に設定し、本部・支部家族会の結成およびすでに結成されている支部家族会の活動強化をはかる。
- ◎動労千葉労働学校は4月開校を目的に準備する。
- ◎「結成5周年記念講演とレセプション」を4月28日、労働者福祉センターにおいて開催する。
- ◎以上の闘いの過程を通して、すでに数十名にまでおちこんでしまっているとはいえ完全に当局の先兵・「本部」革マルの出先機関と化してしまっている動労「千葉地本」解体の闘いを強力に推進し、動労千葉への復帰を促すオルグ活動を強める。
- ◎各支部委員会および分科会は、原則として3月中に開催し、春・夏の闘いの意志統一をはかる。

(以上)